

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                           |                      |  | 推薦の理由 | 農地利用最適化推進委員候補者としての推薦の有無  | 抱負           | 推薦をした者   |           |       |                     |
|------------------|-------|----|----|----|--|-----------------------------------|----------------------|--|-------|--|--------------|--|-----------|-------|---------------------|
|                  |       |    |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等である<br>か否か |  |       |  |              | 団体の名称  | 団体の目的     | 代表者氏名 | 構成員の<br>人数          |
| 1                | 池田 友邦 | 農業 | 80 | 男  | 昭和40年3月<br>新田高校 普通科卒業<br>昭和40年4月～平成23年3月<br>プリヂェンスタイヤ愛媛販売<br>平成24年～現在<br>農業<br>平成26年3月～令和5年3月<br>東方町総代<br>平成30年3月～令和5年3月<br>在原地区土地改良区副理事長<br>平成26年7月～現在<br>松山市農業委員会会長代理  | 100a<br>米・花木<br>年間150日            | 認定農業<br>者等である        | 地区の農業事情にも深く精通し、地元の信頼も厚い。地域のお世話も長年に渡り続けている。                     | 無     | 農業委員として4期務めた。農業委員会業務は変革を迎えている。地域の資産ともいえる優良農地を将来に引き継いでいけるよう努める。   | 松山市在原地区土地改良区 | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。                     | 理事長 三好 晶一 | 1,184 | 地区内に農地を所有又は耕作していること |
| 2                | 井上 徹郎 | 農業 | 61 | 男  | 昭和60年3月<br>農研機構果樹研究所柑橘研究口之津支場卒場<br>昭和60年4月～現在<br>農業<br>平成20年4月～平成22年3月<br>福角土地改良区理事<br>平成22年4月～平成24年3月<br>福角土地改良区副理事長<br>令和2年7月～令和5年7月<br>松山市農地利用最適化推進委員<br>令和5年7月～現在<br>松山市農業委員   | 516a<br>柑橘、水稲、麦<br>年間300日         | 認定農業<br>者等である        | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く生産意欲も高いと認められるため、推薦します。              | 無     | 地域の農業と農地を守り、持続可能な農業の実現に貢献したい。高齢化や担い手不足が進む中で現場の声を大切にし、公平公正な立場で判断し、地域にとって最善となる活動に努めたい。   | 松山市福角土地改良区   | 農業生産の基盤の整備及び保全を図り農業生産の向上を図る。                         | 柳原 克彦     | 292   | 地区内に農地を所有又は耕作していること |
| 3                | 大北 敬三 | 農業 | 73 | 男  | 昭和50年3月<br>九州学院大学工学部航空工学科卒業<br>昭和50年4月～昭和52年3月<br>九州学院大学附属高等学校教諭<br>昭和52年4月～平成16年12月<br>北条市役所<br>平成17年1月～平成19年3月<br>松山市役所<br>平成19年4月～現在<br>農業<br>令和5年5月～現在<br>えひめ中央農業協同組合総代<br>令和6年4月～令和8年3月<br>正岡地区区長会長<br>令和6年4月～現在<br>中西外区長 | 45a<br>水稲、じゃがいも、タマネギ<br>年間150日    | 認定農業<br>者等でない        | 区長、区長会長を務め、地域の農業事情に精通しており、地域農業者からの信頼も厚く、意欲も十分認められるため推薦するものである。 | 無     | 地域の農業は、農家の高齢化と担い手不足による農地の荒廃や耕作放棄地の増加が課題となっています。このような状況の中で地域農業を次世代につなぐため、新規就農者や若い世代の支援や農地の有効活用、また、高齢農家も安心して農業を続けられるよう、現場の声を大切に、農業の活性化と振興に努力します。 | 中西外区         | 地区内の住民の交流、親睦、意見のとりまとめを図るとともに、農地、農業施設の維持・管理、農業の振興を図る。 | 区長 大北 敬三  | 500   | 居住している住民及び耕作者       |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。  
※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名     | 職業   | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                            |                      |   | 推薦をした者                          |   |                 |  |         |            |                                     |
|------------------|--------|------|----|----|--|------------------------------------|----------------------|---|---------------------------------|---|-----------------|--|---------|------------|-------------------------------------|
|                  |        |      |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数)  | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 推薦の理由   | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無 | 抱負  | 団体の名称           | 団体の目的  | 代表者氏名   | 構成員の<br>人数 | 構成員た<br>る資格等                        |
| 4                | 越智 道三  | 農業   | 65 | 男  | 昭和54年3月<br>愛媛大学農学部附属農業高等学校卒<br>昭和54年9月～昭和59年3月<br>松山市臨時職員<br>昭和59年4月～現在<br>農業<br>昭和63年10月～令和7年9月<br>えひめ中央農協臨時職員(柑橘評価員)<br>平成29年4月～現在<br>五明地区まちづくり協議会支部長兼会長<br>令和7年4月～現在<br>五明公民館館長               | 80a<br>水稲、ホウレンソウ、<br>ナス<br>年間150日  | 認定農業<br>者等でない        | 農業に関する実績も高く、地区内の農地利用や生産<br>状況などの農業事情に精通しており、生産意欲も高<br>いと認められるため推薦するものである。 | 無                               | 中山間地において耕作<br>放棄地が増加し、それに<br>伴う鳥獣被害も深刻化<br>するなか、農地の有効<br>利用と適切な管理は喫<br>緊の課題であると考えて<br>います。特に当地域の<br>水田は石手川ダムの上<br>流域に位置しており、単<br>なる生産の場であるだけ<br>でなく、水資源の涵養や<br>自然のため池としての多<br>面的機能も担っていま<br>す。農業委員として、地<br>域の皆様と行政の橋渡<br>し役となり、農地の集約<br>化や保全会活動を推進す<br>ることで、大切な田んぼ<br>を次世代へ引き継ぎ、豊<br>かな自然環境を守り抜く<br>所存です。 | 五明地区区長会         | 地区内の農道水路の<br>維持管理及びとりま<br>とめ                 | 竹田 裕之   | 10         | 区内の各<br>区長                          |
| 5                | 烏谷 陽一郎 | 会社役員 | 67 | 男  | 昭和57年3月<br>東海大学工学部建築 卒業<br>昭和57年4月～昭和60年5月<br>楠浪速設計事務所<br>昭和60年5月～現在<br>楠連合企画設計役員<br>令和元年4月～現在<br>道後水利組合員<br>令和3年4月～現在<br>道後水利組合 副組合長<br>令和2年7月～令和5年7月<br>松山市農業委員会委員<br>令和5年7月～現在<br>最適化推進委員     | 127a<br>柑橘<br>年間50日                | 認定農業<br>者等でない        | 農業委員の実績もあり、役員としても有能の為   | 無                               | 地元農業の安定に向け<br>協力させていただきます。  | 道後水利組合          | 地区内の農業用水の<br>管理調整・農地の管<br>理                  | 総代 中西 清 | 10         | 地域内<br>農地所有                         |
| 6                | 木本 健郎  | 農業   | 74 | 男  | 昭和45年3月<br>玉川大学農学部農学科卒<br>昭和45年4月～平成23年7月<br>四国コカ・コーポリング株式会社<br>平成23年7月～令和元年10月<br>株式会社ダイナフロー<br>平成28年4月～令和2年3月<br>JAえひめ中央太山寺支部生産部長<br>平成30年4月～令和2年3月<br>勝岡八幡神社宮総代<br>令和5年4月～令和6年3月<br>太山寺本村町内会長 | 66a<br>宮内伊予柑、レモン、<br>せとか<br>年間250日 | 認定農業<br>者等でない        | 農業に関する実績も高く、地区内の農業事情に精通<br>し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高い<br>と認められるため推薦するものである。 | 無                               | 地域の為に尽くします。   | 松山市太山寺土地<br>改良区 | 地区内の農業生産基<br>盤の整備及び開発を<br>行い、農業生産の向<br>上を図る。 | 岡本 邦久   | 287        | 地区内に<br>農地を所<br>有又は耕<br>作してい<br>ること |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴  | 推薦を受けた者                            |                      |   | 推薦をした者                          |  |              |  |           |            |                                      |
|------------------|-------|----|----|----|---|------------------------------------|----------------------|---|---------------------------------|--|--------------|--|-----------|------------|--------------------------------------|
|                  |       |    |    |    |   | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数)  | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 推薦の理由   | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無 | 抱負   | 団体の名称        | 団体の目的  | 代表者氏名     | 構成員の<br>人数 | 構成員た<br>る資格等                         |
| 7                | 仙波 正幸 | 農業 | 68 | 男  | 昭和54年3月<br>国立新居浜工業高等専門学校 電気工学部卒業<br>昭和54年4月～現在<br>農業<br>平成28年～現在<br>平井町土地改良区理事<br>平成28年～現在<br>松山市農協理事<br>平成14年～平成20年、令和2年～令和5年<br>松山市農業委員<br>平成29年7月～令和2年、令和5年～令和7年<br>松山市農地利用最適化推進委員   | 380a<br>水稲<br>年間250日               | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 認定農業者として農業に専業するとともに、地区内の農業事情にも精通し、地区内農業の振興と生産意欲も高いと認められることから推薦するものです。 | 無                               | 農業に携わる中、地域農業は高齢化が進み担い手不足、それによる荒廃農地が増え、農業経営環境の悪化など多くの課題を抱えており、取り巻く状況の厳しさを実感しております。そのような中で地域農業に少しでも貢献できるよう取り組んでいきたい。 | 松山市平井町土地改良区  | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。                 | 理事長 仙波 隆一 | 355        | 耕作者<br>正組合員                          |
| 8                | 高市 潔  | 農業 | 80 | 男  | 昭和39年3月<br>愛媛大学農学部附属農業高等学校<br>昭和39年4月～平成17年3月<br>愛媛食糧事務所愛媛農政事務所<br>平成17年4月～現在<br>農業<br>平成25年4月～平成29年3月<br>久米地区土地改良区高井分区分長<br>平成25年4月～平成29年3月<br>久米地区土地改良区理事<br>平成26年4月～平成29年3月<br>高井農地維持保全会代表<br>平成28年7月～平成29年3月<br>松山市・東温市共有山林組合議会議員<br>令和元年7月～令和4年6月<br>松山市農業協同組合理事<br>令和5年4月～現在<br>久米地区土地改良区監事 | 200a<br>水稲、ブロッコリー、<br>里芋<br>年間250日 | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 農業に関する実績も高く、地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。     | 無                               | 松山市の農業の未来を考え、業務に邁進したいと思っております。   | 松山市久米地区土地改良区 | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。                 | 仙波 勝博     | 770        | 久米地区<br>内に田畑<br>を所有又<br>は耕作し<br>ている者 |
| 9                | 竹田 和司 | 農業 | 72 | 男  | 昭和47年3月<br>伊予農業高校 卒業<br>昭和47年4月～平成30年3月<br>北条郵便局<br>平成30年4月～現在<br>農業<br>令和6年4月～現在<br>高縄神社総代   | 100a<br>水稲、トマト、西瓜<br>年間200日        | 認定農業<br>者等であ<br>らない  | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものです。                  | 無                               | 農地利用の最適化の推進に向けて尽力したい。  | 河野地区区長会      | 区長会  | 西原 康彦     | 15         | 区長                                   |
| 10               | 田中 省吾 | 農業 | 63 | 男  | 昭和60年3月<br>關西大学商学部卒業<br>昭和60年3月～平成5年8月<br>株式会社ソフトエアコントロール<br>平成6年9月～平成27年12月<br>株式会社ホクエウ<br>平成28年1月～現在<br>農業<br>令和4年4月～令和5年3月<br>立岩地区区長会長<br>令和6年8月～現在<br>北条市土地改良区監事  | 80a<br>西瓜、柑橘、桃<br>年間300日           | 認定農業<br>者等であ<br>らない  | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦いたします。                   | 無                               | 土地改良区の役員を仰せつかっている関係上、両会の機能を存分に連携させ、地域の農業、農村の維持発展に寄与する所存です。   | 立岩地区区長会      | 立岩地区の単位自治会が相互綿密な連携を図り、地域社会の振興・発展及び住民の福祉向上を目的とする。 | 白石 寿見     | 17         | 区長                                   |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。  
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                           |                      |  | 推薦の理由 | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無   | 抱負         | 推薦をした者                                    |           |       |                     |
|------------------|-------|----|----|----|--|-----------------------------------|----------------------|--|-------|---|------------|---|-----------|-------|---------------------|
|                  |       |    |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か |  |       |   |            | 団体の名称                                     | 団体の目的     | 代表者氏名 | 構成員の<br>人数          |
| 11               | 寺井 克之 | 農業 | 70 | 男  | 昭和53年3月<br>亜細亜大学経済学部卒業<br>昭和54年4月～平成9年9月<br>松山市役所<br>平成10年5月～令和8年5月<br>松山市議会議員<br>平成12年4月～現在<br>農業<br>平成18年3月～平成20年7月<br>平成26年7月～現在<br>松山市農業委員会農業委員  | 75a<br>伊予柑、デコボン、レ<br>モン<br>年間200日 | 認定農業<br>者等でない        | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼が厚く、生産意欲もあると認められるため推薦するものです。                   | 無     | 地域の農業者の代表として、農業、農村を守り、その健全な発展に寄与したいと思います。また、法令遵守及び高い倫理観を持ち、優良の地の維持及び農業の振興に繋がるよう農業委員会活動に努めたいと思います。 | 松山市吉藤土地改良区 | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。          | 理事長 門屋 誠  | 144   | 地区内に農地を所有又は耕作していること |
| 12               | 俊成 雅直 | 農業 | 67 | 男  | 昭和59年3月<br>高知大学農学部卒業<br>昭和59年4月～現在<br>農業<br>平成12年4月～平成13年3月<br>大浦地区総代<br>令和2年8月～令和3年7月<br>えひめ中央農協大浦支部生産部長  | 170a<br>愛果28号、温州<br>年間200日        | 認定農業<br>者等である        | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。                  | 無     | 地区の過疎化、高齢化に伴い、優良農地の中にも耕作放棄地が見受けられるため、最適な担い手への農地の集積、集約化をすすめて、新規参入者が魅力を感じられる農業ができる様に農地の最適化に尽力したい。   | 中島総代会      | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。          | 河野 満司     | 32    | 17地区の正副総代           |
| 13               | 西岡 秀樹 | 農業 | 62 | 男  | 昭和57年3月<br>愛媛県立伊予農業高等学校卒<br>昭和57年4月～現在<br>農業<br>平成5年7月～平成14年7月、<br>令和2年7月～令和5年7月<br>松山市農業委員<br>平成23年8月～現在<br>認定農業者<br>令和5年7月～現在<br>松山市農地利用最適化推進委員  | 250a<br>水稲、レンコン、ナス<br>年間250日      | 認定農業<br>者である         | 農業者のリーダーとして地区内からも厚い信頼を受けており、生産意欲、研究心、向上心も強いことから、今後一層の活躍を期待して推薦するものである。 | 有     | 農業を取り巻く環境は生産コストの高騰、農産物価格の低迷と大変厳しい状況が続いています。今後、若手の後継者と共に、地域の優良な農地を守り、地域農業の発展に貢献したいと考えております。        | 松山市石井地区総代会 | 石井地区の農業の振興と農業構造の改善に資する。                   | 北村 健市     | 17    | 農業者                 |
| 14               | 野田 和宏 | 農業 | 68 | 男  | 昭和51年2月<br>新田高校工業課電気課卒業<br>昭和51年4月～令和3年3月<br>一般財団法人 四国電気保安協会<br>令和3年4月～現在<br>農業<br>令和4年4月～令和6年3月<br>北条辻北地区副区長<br>令和3年6月～令和5年5月<br>北条市北条土地改良区水利担当理事<br>令和5年6月～令和7年5月<br>北条市北条土地改良区副理事長<br>令和7年6月～現在<br>北条市北条土地改良区理事長<br>令和5年4月～令和8年3月<br>えひめ中央農業協同組合 北条中央支所運営委員 | 94a<br>水稲、キャベツ、ショ<br>ウガ<br>年間250日 | 認定農業<br>者等である        | 農業に関する実績も高く、地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。      | 無     | 委員として、農業の発展のため自らの責任を果たせるよう努力してまいります。  | 北条市北条土地改良区 | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上、農業総生産の増大を図る。 | 理事長 野田 和宏 | 102   | 地区内に農地を所有又は耕作していること |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                           |                      |   |                                 | 推薦をした者   |                   |                              |       |            |              |
|------------------|-------|----|----|----|--|-----------------------------------|----------------------|---|---------------------------------|--|-------------------|------------------------------|-------|------------|--------------|
|                  |       |    |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 推薦の理由   | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無 | 抱負   | 団体の名称             | 団体の目的                        | 代表者氏名 | 構成員の<br>人数 | 構成員た<br>る資格等 |
| 15               | 野本 正志 | 農業 | 74 | 男  | 昭和53年3月<br>大阪大学工学部 卒業<br>昭和53年3月～平成22年3月<br>愛媛県青果農業協同組合連合会<br>(平成10年合併により愛媛県農業協同組合連合会)<br>(平成15年上記連合会より分離し、糺えひめ飲料)<br>平成22年4月～現在<br>農業<br>平成26年4月～平成27年3月<br>久枝公民館安城寺分館分館長<br>平成28年4月～令和8年3月<br>安城寺町土地改良区理事<br>令和3年4月～令和4年3月<br>安城寺町土地改良区理事長 | 160a<br>米、蚕豆、アボカド<br>年間250日       | 認定農業<br>者等でない        | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められる為推薦するものである。              | 有                               | 久枝地区は都市近郊の市街化調整区域の為、近隣の市街化区域の土地利用の情報が入りやすく、土地所有の流動化が今でも活発になっていない。所有者が高齢化等により耕作できなくなった土地と土地希望者の要望をマッチングさせて、耕作放棄地の拡大を防ぎ、良好な田園風景を維持しつつ、農業所得で生活できる営農手法を確立しなければならぬ。 | 久枝土地改良協議会         | 久枝地区の農業振興を図る団体               | 森田 久典 | 12         | 集落の代表        |
| 16               | 樋野 定計 | 農業 | 74 | 男  | 昭和45年3月<br>新田高校 卒業<br>昭和47年2月～平成20年3月<br>北条市農業協同組合<br>平成20年3月～現在<br>農業<br>平成28年6月～令和2年5月<br>粟井地区青果部支部長<br>平成26年6月～現在<br>えひめ中央農業協同組合北条南支所運営委員長<br>令和2年6月～現在<br>えひめ中央農業協同組合運営委員長<br>令和5年7月～現在<br>松山市農業委員会農業委員                                  | 20a<br>キウイ、柑橘、アボカド<br>年間200日      | 認定農業<br>者等である        | 農業に関する実績も高く、地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。 | 無                               | 3年間農業委員を経験し、多くのことを学べたので、さらなる経験をし、地元等に貢献したいと思えます。   | えひめ中央農業協同組合 北条南支所 | 地区内の農業経営安定と生活向上又、農業生産の向上を図る。 | 白石 智則 | 12         | 地区内組合員       |
| 17               | 福田 信次 | 農業 | 73 | 男  | 昭和53年9月<br>広島大学文学部仏文科中退<br>昭和53年10月～現在<br>農業<br>平成13年4月～平成14年3月、<br>令和6年4月～令和7年3月<br>津和地地区 区長<br>平成17年4月～平成27年3月<br>津和地中山間地域等直接支払制度会長<br>令和5年8月～令和8年7月<br>松山市農業委員  | 80a<br>柑橘類、タマネギ<br>年間300日         | 認定農業<br>者等である        | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため推薦するものである。             | 無                               | 地区の過疎化高齢化に伴い、かつ労働条件の悪い農地が多く、耕作放棄地が増えています。耕作放棄地の利用最適化の推進に力を注ぎたい。  | 津和地地区             | 地区全体の生活基盤全体の維持と活性化を図る。       | 小方 勝利 | 95         | 地区住民         |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。  
 ※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業          | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                            |                      |   |                                 | 推薦をした者   |                  |   |                  |            |                                     |
|------------------|-------|-------------|----|----|--|------------------------------------|----------------------|---|---------------------------------|--|------------------|---|------------------|------------|-------------------------------------|
|                  |       |             |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数)  | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 推薦の理由   | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無 | 抱負   | 団体の名称            | 団体の目的   | 代表者氏名            | 構成員の<br>人数 | 構成員た<br>る資格等                        |
| 18               | 藤岡 正勝 | 農業          | 81 | 男  | 昭和38年3月<br>松山城南高等学校 普通科卒業<br>昭和38年4月～平成17年3月<br>四国建設機械販売<br>平成17年4月～現在<br>農業<br>平成20年4月～平成22年3月<br>久谷地区総代会会長<br>平成28年9月～令和元年8月<br>在原地区土地改良区理事長<br>平成17年7月20日～平成26年7月19日<br>松山市農業委員会農政部会長<br>平成25年6月～平成28年6月<br>えひめ中央農業協同組合経営管理委員<br>平成27年4月～現在<br>えひめ中央農業協同組合米麦生産協議会委員 | 270a<br>稲・野菜<br>年間300日             | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 地区の農業事情にも深く精通し、地元の信頼も厚<br>い。地域のお世話も長年に渡り続けている。  | 無                               | 営農後継者の育成、農<br>地集積を図る。  | 松山市在原地区土<br>地改良区 | 地区内の農業生産基<br>盤の整備及び開発を<br>行い、農業生産の向<br>上を図る。  | 理事長 三好 晶一        | 1,184      | 地区内に<br>農地を所<br>有又は耕<br>作してい<br>ること |
| 19               | 本田 光幸 | 農業兼団体<br>職員 | 63 | 男  | 昭和60年3月<br>神戸学院大学 経済学部卒業<br>昭和60年4月～昭和61年3月<br>マルモ株式会社<br>昭和61年4月～現在<br>松山市農業協同組合<br>令和元年6月～現在<br>松山市農業協同組合理事<br>令和6年4月～現在<br>余戸土地改良区代表監事  | 33a<br>水稲・蚕豆・プロック<br>リー<br>年間200日  | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 農業に関する実績も高く、地区内の農業事情に精通<br>し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高い<br>と認められるため推薦するものです。                            | 無                               | 農業者の高齢化と担い<br>手不足が叫ばれている<br>中、耕作放棄地の再生、<br>農地利用の最適化と新<br>規就農者の確保また地<br>域農業を維持していく<br>ため、農地保全や担い手<br>の確保といった地域の<br>将来の農業の在り方に<br>取り組んでいきたいと思<br>います。<br>また、地域の農業者や<br>農地所有者の代表とし<br>て農地の適正な利用を<br>守り、農業者の相談に乗<br>り地域農業の発展に貢<br>献し、地域農業の「守り<br>手」として取り組んで参<br>ります。 | 松山市農業協同組<br>合    | 農業者の協同組織の<br>発達を促進すること<br>により、農業生産力<br>の増進及び農業者の<br>経済的社会的地位の<br>向上を図り、もって国<br>民経済の発展に寄与<br>すること。 | 代表理事組合長<br>阿部 和孝 | 38,000     | 組合員                                 |
| 20               | 南 耕一  | 農業          | 68 | 男  | 昭和53年3月<br>愛媛県立農業大学校農業科卒業<br>昭和53年4月～昭和57年5月<br>天龍石綿(株)<br>昭和57年6月～現在<br>農業<br>昭和60年4月～平成29年3月<br>南高井消防団<br>平成14年4月～令和6年3月<br>松山市農協青壮年部浮穴支部長<br>平成26年4月～現在<br>南高井土地改良区総代<br>平成26年7月～令和2年7月<br>松山市農業委員<br>令和2年7月～現在<br>松山市農地利用最適化推進委員                                   | 240a<br>水稲、タマネギ、ハシ<br>イソ<br>年間270日 | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 農業も現在やっており、農に関する知識、意欲は十分<br>に持っている。<br>農地利用の最適化の取組みについて、経験、実績も<br>十分にあり、農家、非農家の信頼も厚く、農業委員に<br>推薦する。 | 無                               | 12年間の委員活動や<br>経験を活かし、さらなる<br>地域の発展、遊休農地<br>の解消に努めてまいり<br>ます。   | 松山市南高井土地<br>改良区  | 土地改良施設の維持<br>管理を適正に行い、<br>農業の生産性の向<br>上、増大を図る。  | 井門 明彦            | 295        | 地区内に<br>農地を所<br>有又は耕<br>作してい<br>ること |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名     | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴  | 推薦を受けた者                           |                      |  |                                 | 推薦をした者  |                    |                                      |                       |            |                     |
|------------------|--------|----|----|----|---|-----------------------------------|----------------------|--|---------------------------------|---|--------------------|--------------------------------------|-----------------------|------------|---------------------|
|                  |        |    |    |    |   | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 推薦の理由  | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無 | 抱負  | 団体の名称              | 団体の目的                                | 代表者氏名                 | 構成員の<br>人数 | 構成員た<br>る資格等        |
| 21               | 宮内 祥二郎 | 農業 | 61 | 男  | 昭和58年3月<br>愛媛大学農学部附属農業高等学校卒業<br>昭和58年4月～現在<br>農業<br>平成22年6月～現在<br>JAえひめ中央経営管理委員<br>平成22年6月～平成25年6月<br>丸温松山中央青果株式会社取締役<br>平成25年7月～現在<br>松山市農業委員<br>平成25年4月～現在<br>松山市東温市共有山林組合山林委員長 | 330a<br>水稲・麦・柑橘<br>年間300日         | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 地区内の農業事情に精通し、地域の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められる為推薦するものである。                 | 無                               | 地域の農業振興を図り農地を守りたい。  | 松山市梅本地区土地改良区       | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。     | 理事長 家久 英雄             | 500        | 地区内に農地を所有又は耕作していること |
| 22               | 三好 陽造  | 農業 | 74 | 男  | 昭和49年3月<br>広島修道大学商学部 卒業<br>昭和53年4月～平成29年4月<br>愛媛日野自動車株式会社<br>平成30年4月～令和2年3月<br>高岡町自治会会長<br>令和3年4月～令和7年3月<br>高岡土地改良区理事長<br>令和7年4月～現在<br>一般社団法人高岡河川管理組合代表理事                         | 30a<br>水稲<br>年間200日               | 認定農業<br>者等でない        | 常日頃より農業、農地のことに関して問題意識を持ち、改良区の理事長もつとめ、自治会長もつとめ、生石地区全体にも目が向く人物であり推薦する。 | 無                               | 農業従事者の減少及び高齢化に伴い、担い手不足に対応した農業生産基盤の強化が課題となるなか、農地等の利用の最適化の推進に関し、地域農業者間との連携に貢献出来ればと思います。 | 生石地区改良区長<br>会連絡協議会 | 生石地区農協組合員の経済的社会的地位の向上と調和を図ることを目的とする。 | 松山市久保田土地改良区 理事長 秀野 隆昭 | 12         | 地区内の土地改良区正副理事長      |
| 23               | 森 一成   | 農業 | 66 | 男  | 昭和56年3月<br>城西大学経済学部卒業<br>昭和56年4月～現在<br>農業<br>令和3年4月～現在<br>松山市農業委員<br>令和4年4月～令和6年3月<br>松山市消防団高浜分団分団長<br>令和4年4月～令和5年3月<br>高浜町六丁目町内会長<br>令和7年4月～現在<br>新浜土地改良区監査                      | 130a<br>伊予柑、紅まどんな、甘平<br>年間250日    | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 農業に関する実績も高く、地区内の事情にも精通し、地区内の農業者からの信頼も厚く、生産意欲も高いと認められるため、推薦するものである。   | 無                               | 前期の経験を生かし、地域のために尽力したい。  | 松山市新浜土地改良区         | 地区内の農業生産基盤の整備等を行い、生産の向上を図る。          | 理事長 黒田 光正             | 220        | 組合員                 |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

団体推薦の状況

| 番号<br>(五十番<br>順) | 氏名    | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴   | 推薦を受けた者                           |                      |  | 推薦の理由 | 農地利用最適化推<br>進委員候補者として<br>の推薦の有無                                      | 抱負              | 推薦をした者                                      |                      |        |                     |
|------------------|-------|----|----|----|--|-----------------------------------|----------------------|--|-------|--|-----------------|---|----------------------|--------|---------------------|
|                  |       |    |    |    |  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品<br>目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か |  |       |  |                 | 団体の名称                                       | 団体の目的                | 代表者氏名  | 構成員の<br>人数          |
| 24               | 山内 望  | 農業 | 58 | 男  | 昭和60年3月<br>愛媛大学農学部附属農業高等学校卒業<br>平成元年8月～平成7年9月<br>株式会社谷商店<br>平成7年4月～平成7年9月<br>聖カタリナ大学社会福祉学部非常勤講師<br>平成9年4月～令和3年9月<br>愛媛大学教育学部非常勤講師<br>平成7年9月～現在<br>農業<br>令和2年4月～令和5年3月<br>松山市農協青壮年部興居島支部長<br>平成20年4月～平成21年3月<br>松山市PTA連合会理事<br>平成17年4月～平成19年3月<br>愛媛県農業後継者連絡協議会松山地区理事<br>令和2年4月～令和7年3月<br>中山間泊北集落代表<br>令和6年4月～現在<br>松山市消防団興居島分団団長<br>令和3年3月～現在<br>県無形民族文化財船踊り興居島船踊保存会会長 | 150a<br>伊予柑、温州みかん、レモン<br>年間320日   | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 愛媛県農業後継者連絡協議会松山地区理事や中山間泊北集落代表などの経験もあり、松山市消防団興居島分団分団長等、幅広く地域に貢献しており、地域の農業者からの信頼も厚い。また、聖カタリナ大学・愛媛大学の非常勤講師の経験もあり松山市泊土地改良区より推薦するものである。 | 有     | 興居島地区の農地適正利用と継続可能な農地保持、利用に尽力していきたい。                                  | 松山市泊土地改良区       | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。            | 山内 孝明                | 96     | 地区内に農地を所有又は耕作していること |
|                  |       |    |    |    |  |                                   |                      |  |       |  | 松山市農協興居島地区運営委員会 | 地区内の農業生産基盤の整備及び開発を行い、農業生産の向上を図る。            | 小池 真悟                | 11     | 運営委員及び部長            |
| 25               | 山岡 欣也 | 農業 | 67 | 男  | 昭和52年3月<br>愛媛県立新居浜工業高等学校 卒業<br>昭和58年4月～現在<br>農業<br>平成28年3月～現在<br>愛媛県農業指導士<br>令和5年7月～現在<br>松山市農業委員  | 250a<br>柑橘<br>年間300日              | 認定農業<br>者等であ<br>る    | えひめ中央農協の経営管理委員として農協事業に精通しており、また、認定農業者として農業事情においても精通していることから、農協の代表として推薦するものです。  | 無     | 農業を取り巻く環境は厳しい中ではあるが、担い手の育成、農地の有効利用を促進し地域の農業生産の振興に少しでも寄与できるよう努めていきたい。 | えひめ中央農業協同組合     | 地域の農業生産の振興を目的として、協同して組合員の事業・生産のための必要な事業を行う。 | 代表理事<br>理事長<br>武市 佳久 | 41,049 | 組合員                 |
| 26               | 渡部 康夫 | 農業 | 76 | 男  | 昭和47年3月<br>私立大東文化大学経済学学科経済学部中退<br>昭和48年4月～昭和57年3月<br>安田生命保険相互会社松山支社<br>昭和58年4月～令和元年<br>一栄電気<br>昭和58年4月～現在<br>農業<br>令和2年3月～現在<br>松山市立待郷土地改良区理事長<br>令和元年4月～現在<br>松山市地域農業再生協議会松山市農業協同組合代表<br>令和元年9月～現在<br>松山市南部生産組代表理事  | 9a<br>水稲、麦、ナス<br>年間250日           | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 各農業団体の役員も兼務して、地域からの信望も厚く、今後地域農業の発展に寄与していただけるものと期待して推薦するものである。  | 有     | 初志貫徹の気持ちで出来る事は出来る。出来ない事は出来ない精神でがんばります。                               | 松山市石井地区総代会      | 石井地区の農業の振興と農業構造の改善に資する。                     | 北村 健市                | 17     | 農業者                 |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

個人推薦の状況

| 番号<br>(五十音順) | 推薦を受けた者 |    |    |    |          |                               |                      |       |                                 |    | 推薦をした者 |    |    |    |
|--------------|---------|----|----|----|----------|-------------------------------|----------------------|-------|---------------------------------|----|--------|----|----|----|
|              | 氏名      | 職業 | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴 | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品目・農業従事日数) | 認定農業<br>者等である<br>か否か | 推薦の理由 | 農地利用最適化推進<br>委員候補者としての<br>推薦の有無 | 抱負 | 氏名     | 職業 | 年齢 | 性別 |
| 申請無し         |         |    |    |    |          |                               |                      |       |                                 |    |        |    |    |    |

松山市農業委員会の農業委員候補者の推薦および応募結果

松山市農業委員会の農業委員の推薦及び応募状況を次のとおり公表します。

※公表内容は、推薦書または応募書記載のとおりです。

応募の状況

| 応募をした者       |       |         |    |    |   |                                   |                      |                             |   |
|--------------|-------|---------|----|----|---|-----------------------------------|----------------------|-----------------------------|---|
| 番号<br>(五十番順) | 氏名    | 職業      | 年齢 | 性別 | 学歴・職歴・経歴  | 農業経営の状況<br>(耕作面積・作付品目・農業<br>従事日数) | 認定農業<br>者等であ<br>るか否か | 農地利用最適化推進委員候補者とし<br>ての応募の有無 | 応募の動機   |
| 1            | 篠原 英行 | 自営業(農業) | 66 | 男  | 昭和57年3月<br>松山商科大学 経営学部 卒業<br>昭和57年4月～平成29年3月<br>株式会社フジ<br>平成29年4月～現在<br>農業<br>令和元年10月～現在<br>営農型太陽光発電稼働開始<br>令和2年2月～現在<br>松山市認定NPOくぼの里山会事務局長<br>令和2年4月～現在<br>くぼの里山保存会事務局長<br>令和6年10月～現在<br>松山こども食堂ネットワークとの連携活動   | 50a<br>水稲・玉ねぎ・ブロッコリー<br>年間330日    | 認定農業<br>者等であ<br>る    | 無                           | 私は松山市窪野町で就農して8年、中山間地区の小規模農家として地域農業の維持・発展に如何に寄与できるか考え、自らの農園「いよぼのファーム」では、SNSやECサイトを活用した「玉ねぎ定期便や棚田オーナー制」など、消費者に選ばれる農業を目指しています。今後の抱負として①農地の集約・集積を促進し、遊休農地の解消と優良な農地を次世代に引継ぐ仕組みづくりに貢献する。②自身の経験を活かし、小規模農家や新規就農者がデジタル技術を活用して所得向上を図れる支援体制の構築を提言する。③都市近郊農業の強みを生かした食育や地域交流を推進し、農業を通じた松山市の魅力向上に務める。 |
| 2            | 二宮 清彦 | 無職      | 64 | 男  | 昭和62年3月<br>松山商科大学 経済学部卒業<br>平成元年4月～平成15年3月<br>中四国農政局総務課、人事課、土地改良調査<br>管理事務所、農政部経済課<br>平成15年4月～平成22年3月<br>大臣官房協同組合検査部、金融庁、東海農政<br>局総務部検査官<br>平成22年4月～令和6年3月<br>大臣官房検査・観察部審査室長、検査課長<br>平成元年3月<br>日本商工会議所簿記検定2級合格<br>平成18年7月<br>証券アナリスト2次試験合格<br>令和6年4月<br>伊予史談会において郷土史の研究 | 無                                 | 認定農業<br>者等でない        | 応募している                      | 農林水産省に勤務する中で、様々な農業及び関係団体に係る行政に携わった経験を活かし、松山市の農業の発展に貢献したいとの思いが最も大きな応募の理由です。松山市は、多くの地方都市の例にもれず農地と市街地が混在しており、また、島しょ部、中山間地域における果樹栽培、副業的農家の割合が高いことを特徴としますが、農家の高齢化等により遊休地や活用されない農地の増加が懸念されています。そのため、今後の農業の維持・育成においては、農地等の利用の最適化を推進することが肝要であると考えます。その一助になればと思います応募させていただきました。                  |
| 3            | 和田 淳一 | 農業兼パート  | 68 | 男  | 昭和56年3月<br>大阪市立大学 経済学部卒業<br>昭和56年4月～平成30年3月<br>松山市役所<br>平成30年4月～令和5年3月<br>松山市役所再雇用<br>令和5年4月～令和7年12月<br>松山市役所会計年度職員<br>令和8年1月～現在<br>松山市・東温市共有山林組合<br>令和5年7月～現在<br>松山市農業委員   | 65a<br>米<br>年間60日                 | 認定農業<br>者等でない        | 無                           | 松山市職員としての経歴のうち、通算20年間農業委員会事務局に在籍し、その間、農業委員会の所管する農地法関係許可事務をはじめとして各種事務を処理してきた知識経験がありますので、その知見を農業委員の立場で活用して松山市の農業の振興に貢献したいと思い応募しました。   |